

WS 3	日本の税制を考える－私たちは税金のことを知らなすぎるかもしれない－			
	【定員】 35名		【受講料】 2年・1年会員ともに 18,530円 聴講生 20,080円	
	『政治・経済・社会』【ワークショップ】 経済 【時 間】 毎回 15時00分～17時00分 (計12回)			
概要	GDP比260%という公的債務残高の国で、公平・公正で豊かな社会をどのように追求していったら良いのでしょうか。財政規律が失われ、人気取りに傾く政治情勢の中、財源問題は我が国の将来にとって大変重要な課題であることは間違いありません。しかし、私たちは重要な財源である税金について、基本的な考え方、導入の背景、問題点など、どの程度理解しているのでしょうか。日本の将来を考えるために、改めて、税制という足元について学び直し、これからの日本社会と経済を考える基礎固めをしませんか。			
回	月/日(曜)	会 場	学 習 内 容	講師名
1	4/12(金)	川崎市 生涯学習 プラザ	学習ガイダンス	横浜市立大学名誉教授 金子 文夫
2	4/19(金)		序章： 私たちは誰のために税を負担するのだろうか？ 第1章： 所得税 － 1. 「所得」税と給与所得 2. 誰の所得なのか？	
3	4/26(金)		第1章： 所得税 － 3. 「所得」に課税するのか、「人」に課税するのか？ 4. 累進税率の意味	
4	5/10(金)		第2章： 法人税 － 1. 会社の税金の実態 2. 法人税の仕組み 3. 会社の所得は誰のものか	
5	5/17(金)		第3章： 消費税 － 1. 錯覚する消費者 2. 複雑で、不公平でもある税制 3. どうなるのか消費税	
6	5/31(金)		三木義一先生（テキスト著者）との対話 ※三木義一：1950年生、弁護士、元青山学院大学学長、税金関連著書多数	
7	6/ 7(金)		第4章： 相続税 － 1. 制度疲労に陥っている税制 2. 相続税をどう考えるべきか 3. 贈与税の仕組みと問題点	
8	6/21(金)		第5章： 間接税等 － 1. 税が酒を造る 2. たばこ増税の攻防 3. 暫定が恒久化する自動車関係税 4. 様々な流通税 5. 不思議な国税	
9	6/28(金)		第6章： 地方税 － 1. 地方税の仕組み 2. 事業税 3. 固定資産税 4. 都市計画税 5. 法定外税等	
10	7/ 5(金)		第7章： 国際課税 － 1. 逃げる納税者 2. パナマ文書・パラダイス文書の衝撃	
11	7/12(金)		財政再建について（税制や社会保障に関連する論文・レポートを学習）	
12	7/19(金)		終章： 税金問題こそ政治 最終討議－ 日本の将来にとって望ましい税の姿とは？（受講者全員による感想と意見の発表）	
連絡事項	①講義を受講するのではなく、テキストを基に自分たちで考え・調べ・討議しながら自主的に学習する方式です。 ②担当チームがテキストの担当部分について調査・研究した内容を発表するとともに、全員で疑問点についての質疑応答と論点の討議を行います。なお、発表資料はメールで事前送付されますので、各自でプリントして持参願います。 ③テキストは「日本の税金 第3版」（三木義一著、2018年9月 岩波新書、840円＋税）を使用しますが、事務局で手配します。			